

平成 29 年度 取石南こども園 事業報告書

1. こども園の運営

- (1) 名称 取石南こども園
- (2) 所在地 大阪府高石市取石 4 丁目 12 番 16 号
- (3) 運営主体 社会福祉法人 徳友会
- (4) 定員 認可定員 1 号認定 15 名 2 号・3 号認定 130 名 計 145 名
 利用定員 1 号認定 15 名 2 号・3 号認定 110 名 計 125 名
- (5) 平成 29 年度 教育・保育延べ人数

認定区分	年齢	延べ人数 (人)	月平均 (人)	利用定員に対する充足率
1 号	4、5 歳児	106	8.83	78.9%
	3 歳児	36	3	
2 号	4、5 歳児	798	41.5	104.6%
	3 歳児	244	20.33	
3 号	1、2 歳児	489	40.75	
	0 歳児	159	13.25	
合計		1,532	127.67	102.1%

(6) 教職員の状況

園長 1 名 副園長 1 名 主幹保育教諭 2 名 保育教諭 23 名 看護師 1 名

事務員 3 名 保育補助員 3 名 嘱託医・嘱託歯科医・嘱託薬剤師 5 名

(人数は非常勤職員及び産休、育休中職員を含む)

※給食調理は柏原マルタマフーズ(株)に業務委託の上、4 名の調理員で実施

(7) 教育・保育時間

① 開園日・時間

月曜日～土曜日 (祝日、12 月 29 日～1 月 3 日を除く)

7 : 00～19 : 00 (延長保育事業の実施)

② 教育・保育時間

1 号認定児 教育標準時間 8 : 30～14 : 30

2 号・3 号認定児 保育標準時間 7 : 30～18 : 30

保育短時間 9 : 00～17 : 00

2. 教育・保育設備

敷地面積.....2121.60 m² (実測値) (法人所有地 1564.57 m² 借地 557.03 m²)
こども園舎.....鉄筋コンクリート造り 2階建て こども園舎建面積... 613.94 m²
延べ面積.....877.57 m² 屋外遊戯場.....1035.50 m² (実測値)

3. 教育・保育の目標

○大きくなったとき両親を大切にする子

○強く、優しく、素直な子

規律ある生活習慣とともに総合的な経験活動を通じて健全な心身の発達を目指します。

1. 健康で明るく伸び伸びとした子に。
2. 自分で考えて行動し、自ら安全な生活ができる子に。
3. 自主・自律・協同性をもって集団生活に適応できる子に。
4. 他人の話はよく聞き、自分の思いをはっきりと言える子に。
5. 感性との表現力・創造性を豊かにし、最後までやり遂げる子に。

4. 日常保育

児童の年齢に応じたデイリープログラムを園長・副園長・主幹保育教諭及び保育教諭が協議して定めた。但し、2号3号認定児においては、おやつ・午睡等は、必ず含まれるように実践した。尚、1歳児保育については、国最低基準を上回り、乳児概ね5人に1人以上の保育教諭に配置した。

5. 特別教育・保育

A・温水プール指導.....3歳児以上...ウイングススポーツクラブ
概ね週1回、(6月・9月～11月で計10回)

B・器楽指導.....3歳児以上...(株)M-style 宮地雅彦氏.....概ね月2回実施

C・体育指導.....3歳児以上...志儀竜也(法人体育指導員).....概ね月2回実施

D・英語指導.....4歳児以上...(株)ECCジュニア.....概ね月2～3回

6. 延長保育事業(一般型)

こども園に通う認定を受けた園児が、やむを得ない理由により通常の利用日及び利用時間帯以外の日及び時間において、保育を必要とする場合に、その園児を受け入れて預かり、保護者が安心して子育てができる環境を整えた。

年間利用人数 7:00～7:30・・・462人

18:30～19:00・・・153人

7. 苦情解決の取り組み

園の苦情解決の仕組みや、苦情解決責任者・担当者・第三者委員を保護者に書面にて公表・配布すると共に、意見箱を常設し、園に対する要望や苦情を自由に投稿できるシステムにしている。又、保護者会役員との意見交換会を年 5 回実施した。園全体に関わる苦情や要望については、個人情報に配慮しつつ、入園式や保育参観時、全保護者を対象に園長より説明を行っている。尚、平成 29 年度中に保護者から口頭や連絡帳等を通じて寄せられた意見や要望事項は次のとおりであった。

- ・一身上の都合で急な退職となった職員の退職理由を詳しく教えてほしいとの要望…1 件
- ・制カバンと補助カバンの取り扱い方を明確にし、園児に指導してほしいとの要望…1 件

いずれのケースも担当保育教諭・主幹保育教諭・副園長（状況によっては園長）が直接保護者と面談・説明し（匿名の場合は園内掲示板に貼り出した）、十分に納得して頂いた上で解決している。

8. 職員の資質向上に関する取り組み

質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図ることに重点を置き、職員研修に取り組んだ。

特に職員会議では、職員自らの品性と人格陶冶に努めるため、園長の訓育や資料として使用している「ニューモラル」を通じ、職員一人一人の倫理観、人間性並びにこども園職員としての職務及び責任の理解と自覚の啓発を図った。また、こども園全体の教育・保育の質を高めるため、園外研修で学んだことを他の職員に伝達し、教育・保育の専門性を高めると共に、教育・保育実践やその内容に関する職員の共通理解を図り、協働性を高めた。

園外研修・・・年 50 回 延参加人数 73 人

職員会議・・・週 1 回（園内研修含む）

給食会議・・・月 1 回

保健会議・・・月 1 回

週案会議・・・週 1 回

月案会議・・・月 1 回

9. 地域子育て支援自主事業

地域の乳幼児を持つ子育て中の保護者や保育を必要とする親子等にこども園を開放すると共に、こども園入園児童との交流を通して育児上の相談助言を行った。

イ 育児相談・助言	毎週火曜日（10：00～15：00）	場所：こども園	件数：77件
ロ 園庭解放	年間26回実施		実参加延べ人数：40人
ハ ひまわりサークル（親子教室）	年間25回実施		実参加延べ人数：241人

10. 小学校との円滑な接続

本園での教育・保育が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにする。

又、園児の発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向け、地元小学校の児童との交流や、修了児の就学先小学校教諭との意見交換や情報交換の機会を設け、連携を通じ質の向上を図る。

3月6日（火）取石小学校担当教諭との意見・情報交換	場所：本園談話室
3月7日（水）取石小学校との交流会、体験入学	場所：取石小学校1年生教室

その他の高石市内の修了児就学先小学校とは、3月上旬に電話で意見・情報交換を実施。

11. 地域貢献事業

社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に行い、相談活動を行う中で、援護を必要とする方の心理的不安の軽減を図り、また必要な制度、サービスにつなぐことを行う。

また、生活保護などの既存の制度では対応できない方で、経済的困窮により、医療や介護の必要なサービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用の一部を支援する経済的援助を行う関係機関との連携を図る。

実年間利用者0名